

## 風向計

## シャワー用軟水器

## 自宅の風呂で肌・髪ケア

厳冬期に入りエアコン暖房などで住環境の乾燥はピークにある。肌や髪、全てのダメージにつながるとして、乾燥対策や美容の話題で盛り上がる季節だ。お肌ツルツル、髪ツヤツヤは重要なモテ要素だけに、中高生から男女とも素肌や髪のケアに気を遣っている。

こうしたなか、美容意識が高い女性たちの間で肌や髪に良いとして軟水の人気が高まっている。硬度の高い沖縄や、都内などを中心に、「軟水風呂」「軟水使用」をアピールしているホテルもある。

この軟水を自宅のお風呂で簡単に使える装置が登場した。2016年12月

中村 泰子

にハウステック（群馬県高崎市）が全国のヤマダ電機を通じて発売したシャワー用軟水器「アクアソフト」＝写真＝は、水の硬度成分（カルシウムやマグネシウム）を取り除き硬度ほぼゼロの超軟水にする。実売価格は税別5万1800円。

この超軟水でせっけんを使って手洗いすると、肌触りが柔らかく、せっけんが落ちた後もいつまでも肌がしっとりして驚く。肌の渇きや髪のコわばりは、水の硬度に関係する。水の硬度成分がせっけん成分や身体の脂肪酸と結合してできるせっけんカスが肌や髪に残るのが原因だという。日本は平均硬度60ミリグラム／リットルで軟



水の国と言われるが、全国では20～100ミリグラム／リットル以上まで地域差があり、水の違いは誰でも実感できるだろう。

アクアソフトの特徴は、装置がコンパクトで設置とメンテナンスが簡単なこと。自宅の狭い浴室でも邪魔にならず、専門工事も不要で女性で

も簡単に取り付けられる。これまでこうした製品は業務用か、家庭用であってももっと大きなサイズしかなかった。2～7日に1回塩水（水1リットルに塩120グラム）を本体に入れて流すだけなので、ランニングコストも安い。

アクアソフトは時代に合わせて軟水器を「美容家電」と位置づけたことで、軟水デビューのきっかけを作ったといえる。風呂だけでなくキッチンでの料理や汚れ落としや洗い物が楽になる利点もある。今後消費者主導で利用シーンが増えていく可能性もあるだろう。

（ブームプランニング社長）